



(2) 事業・取組の実績

平成 24 年度の事業・取組の具体的な内容や効果を、写真、図表等を用いて説明します。なお、関連性の強い事業については、まとめて示しています。

ア 樹林地を守る 


1	緑地保全制度等の拡充	・:事業費のないもの
----------	-------------------	------------

- 特別緑地保全地区や源流の森の指定面積を、5,000 m²以上から 1,000 m²以上へ引き下げ、平成 21 年度より運用しています。
- 土地所有者ができるだけ緑地を持ち続けられるよう、新たな緑地保全制度の導入に向けた検討を進めます。

平成 24 年度の実績	<年度目標>
 管理協定の活用手法について検討を行った	制度案策定

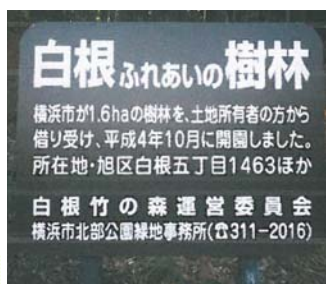
2	篤志の奨励制度	・:事業費のないもの
----------	----------------	------------

- 樹林地の公開に協力いただいた土地所有者の厚意に対し、謝意を表する看板を設置するなど、顕彰する制度の検討を進めます。

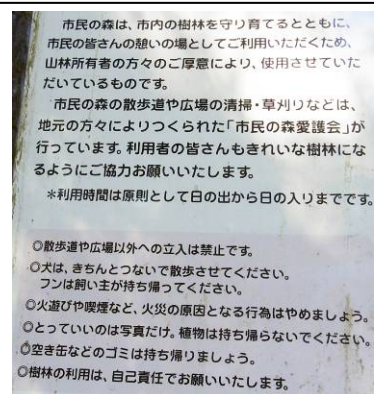
平成 24 年度の実績	<年度目標>
 土地所有者の厚意に謝意を表する看板の設置等を進めた	推進

市民の森やふれあいの樹林は、緑を保全するとともに、市民の皆さまに憩いの場としてご利用いただくため、土地所有者のご厚意により使用させていただいているものです。

こうした制度の趣旨や、ご協力いただいている土地所有者の方への謝意を表する看板等の設置に、引き続き取り組んでいきます。



【写真】看板の設置例



【写真】看板の掲出文例

3

緑地再生等管理事業

◎: 拡充事業

(横浜みどり税一部充当)

- 多様な動植物が生息する健全な森とするため、市民の森等において間伐や下草刈りなどの管理を行ないます。
- 緑地保存地区等における危険樹木撤去や支障樹木の伐採など、樹林地の維持管理に対する助成を行います。
- 市民の森等を安全に利用できるよう、危険斜面の整備などを行ないます。

平成 24 年度の実績		<年度目標>
市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り	147.4ha (56 箇所)	205ha
緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成	91 件	
市民の森等の斜面地での防災対策工事	13 箇所	危険斜面整備

■緑地再生・管理

市民の森等における間伐や下草刈りについて、147.4ha で実施しました。



【写真】再生管理を行った樹林 (瀬谷区/宮沢ふれあいの樹林)

■樹林地維持管理助成

緑地保存地区や源流の森等の緑地保全制度に指定している民有樹林地に対して維持管理費用を91件助成しました。



助成制度を利用した方の声

- ・今まで手をつけられていなかった樹林地に対して、助成を受けようやく作業を行うことができました。
- ・道が明るくなり、落枝の心配もなくなったと近隣の方から感謝されました。


■危険斜面整備

対応が必要な危険斜面について、熊野神社市民の森 (港北区)、泉の森ふれあいの樹林 (泉区) など13箇所ですべて整備を行いました。

4 市民協働による緑地維持管理事業 ◎: 拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

- 樹林地の将来像や維持管理の考え方を定めた「保全管理計画」を、市民との協働で策定します。
- すでに策定した樹林地において計画の検証やモニタリングを実施し、順応的管理(※)を推進しました。

(※) 順応的管理…作業の成果を検証し、計画を見直しながら進める管理のこと

平成 24 年度の実績		＜年度目標＞
 保全管理計画の策定に取り組んだ市民の森等	策定5箇所 策定中1箇所	推進

■市民協働による緑地維持管理事業

- ・ 樹林地の将来設計である「保全管理計画」を、市民の森愛護会など地域の方々との協働により、策定に取り組みました。

策定	下永谷市民の森	港南区
	中田宮の台市民の森	泉区
	深谷市民の森	戸塚区
	荒井沢市民の森	栄区
	横浜自然観察の森	栄区
策定中	寺家ふるさとの森	青葉区



【図】保全管理計画ゾーニング図と見られる可能性のある生きもの(戸塚区/深谷市民の森)

- ・ 平成24年に開園した深谷市民の森(戸塚区)では、整備に合わせて計画を策定しました。地元町内会の方を中心に検討会を重ね、今後見られる可能性のある生きものなど森の魅力を学びながら管理の方向性をまとめました。計画策定後は新たに市民の森愛護会を結成いただき、管理に取り組んでいただいています。

- ・ 荒井沢市民の森(栄区)では、市民の森愛護会の方々と検討会や現地見学会を重ね、現在の管理上の課題解決や、貴重な動植物の保全に向けて実効性の高い計画を策定することができました。



【写真】保全管理計画現地見学会の様子(栄区/荒井沢市民の森)

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 — ア 樹林地を守る

5 森づくりリーダー等育成事業

●:新規事業
(横浜みどり税充当)

- 森の維持管理を進めるため、森に関わる人材育成を進めます。
- 森の手入れ等の管理を行う「森づくりボランティア」、森づくりボランティア団体の運営を担う「森づくりリーダー」、森の生き物観察や普及啓発を行う「はまレンジャー」を育成する講座を行います。

平成 24 年度の実績		<年度目標>
森づくりボランティア育成	41 人	55 人
森づくりリーダー育成	23 人	5 人
はまレンジャー育成	4 人	5 人

■森づくりボランティア育成

森づくりボランティア活動についての基礎的な講義や森の観察、管理作業を体験する講座を開催しました。



【写真】森づくりボランティア養成講座
(森のガイドツアー／栄区・円海山)



【写真】森づくりボランティア養成講座
(伐採体験／緑区・新治市民の森)

■森づくりリーダー育成

森づくりボランティア団体のリーダー向けに、実際の活動をどのように進めるかを考える、シミュレーション形式の講座を開催しました。



【写真】森づくりリーダー養成講座
(緑区・にいほる里山交流センター)



■はまレンジャー育成

樹林地外周部等の安全や生き物に配慮した管理方法についての研修を開催しました。

6 樹林地管理団体活動助成事業

●:新規事業
 (横浜みどり税充当)

- 市民の森やふれあいの樹林地等で森づくり活動をしている愛護団体の積極的な活動に対して支援を行います。
- 森づくりボランティア（団体）に対して、森づくり活動を自主的、計画的に進めることができるよう助成等支援を行います。

平成 24 年度の実績		<年度目標>
 市民の森等の森づくり愛護団体への活動支援	道具の貸出：21 団体 研修の開催：22 団体	25 団体
 森づくりボランティア（団体）への活動支援	助成金交付：1 団体 道具の貸出：13 団体 研修の開催：28 団体	19 団体

■支援内容

<団体活動助成の実施>

団体の積極的な樹林地の魅力や保全の意義を PR する活動に対して、助成を行いました。

<道具の貸出>

カマやノコギリ、活動支援として腕章や帽子などの貸出を行いました。

<研修の開催>

安全管理としての救命救急講習会を実施しました。



【写真】救命救急講習会
 (中区・健康福祉総合センター)

そのほか、団体の組織運営を支援する研修を実施しました。



【写真】組織運営や新人の受け入れ態勢を学ぶ
 ワークショップ形式の研修を開催
 (緑区・にいほり山交流センター)

7

森の楽しみづくり事業

●:新規事業

(横浜みどり税充当)

- 樹林地の魅力や保全の意義を啓発・PR し、市民と森をつなげ、より多くの市民が森の魅力に触れて森に親しみ、楽しみながら樹林地の保全に関心を持つきっかけとなるような、さまざまな体験型事業や情報発信に関する事業を実施します。

平成 24 年度の実績		<年度目標>
 景観の森・生き物の森事業 ー生態系に配慮した植樹等	5.1ha (4箇所)	5ha
 森の中のプレイパーク事業 ープレイパークイベント	6箇所 (130人)	1箇所
 森の収穫物体験事業 ー森の収穫物を楽しむ体験型イベント	13回 (691人)	4回
 里山ライフ体験事業 ー里山の自然や文化を体験するイベント	12回 (493人)	4回
 健康の森事業 ーウォーキングツアー	19回 (589人)	18回
 横浜の森の自然・生き物情報発信事業 ーガイドマップ作成	3地域	推進
 間伐材活用クラフト作成事業 ー間伐材を活用したクラフト作成イベント	13回 (615人)	推進
 森の恵み塾事業 ー森への関心を高める講座	82回 (6,815人)	3拠点で実施

■景観の森・生き物の森事業

市民の森等において、昆虫等が好む樹種等の植樹や生物多様性に配慮した重点的な管理を推進し、良好な景観や生き物の生息環境を創出に取り組みました。

実施箇所	区	面積
三保市民の森	緑	4.6ha
追分市民の森	旭	0.2ha
中田宮の台市民の森	泉	0.1ha
境木ふれあいの樹林	保土ヶ谷	0.2ha

・中田宮の台市民の森（泉区）では、地域性や生物多様性に配慮し自生種であるヤマザクラを広場のシンボルとして植樹しました。

■森の中のプレイパーク事業

子どもたちが木とふれあい、遊びを通して自然や生き物に対する理解を深め、森林環境を考える心を育てることの出来るプレイパークイベントを、街の中と森の中で実施しました。

<街の中のプレイパーク>

会場	区	参加人数
神奈川図書館	神奈川	17人
瀬谷図書館	瀬谷	18人
都筑図書館	都筑	19人
中図書館	中	13人
緑図書館	緑	17人
【計】 5回		84人



参加者の声

- ・本で森の生き物を調べるのはおもしろい。
- ・コブシの名前の由来について初めてわかりました。
- ・サクラ類の葉に密線があることがわかりました。

<森の中のプレイパーク>

会場	区	参加人数
環境活動支援センター (1回目)	保土ケ谷	26人
環境活動支援センター (2回目)	保土ケ谷	20人
【計】 2回		46人



参加者の声

- ・自然を大切にしようという気持ちがさらに強くなった気がします。
- ・子供が一生懸命に取り組んでいました。
- ・いつもは気にしない身近な自然に、楽しみがかわかっていることがわかりました。



【写真】「街の中のプレイパーク」の様子
 (都筑区/都筑図書館)

・グループに分かれて木の特徴を探し、図書館で調べもの学習を行いました。



【写真】「森の中のプレイパーク」の様子
 (保土ケ谷区/環境活動支援センター)

・森を使ってネイチャーゲームを行い、遊びを通じて自然の楽しさ、自然のつながりを体験しました。

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 — ア 樹林地を守る

■森の収穫物体験事業

森の恵みを知り感謝の気持ちを育むことを目的に、収穫と活用を体験できる催し等を開催しました。平成 24 年度は横浜市歴史博物館やボランティア団体との協働により事業を実施しました。

＜横浜市歴史博物館との協働事業＞

横浜の緑について考える機会となるようなワークショップを行いました。

イベント名	参加人数	会場
竹の風車づくり	68 人	大塚・歳勝土遺跡公園内 工房 (都筑区)
繭(まゆ)細工	73 人	
竪穴住居に泊まろう	25 人	
ぞうり編み(2回)	115 人	
凧づくり(2回)	106 人	
土器作り教室	40 人	
紙すき(2回)	136 人	
横浜の土偶	86 人	
【計】 11 回		



【写真】「ぞうり編み」の様子
(11月24、25日開催、都筑区/大塚・歳勝土遺跡公園内工房)

＜その他のイベント等＞

イベント名	会場	区
緑区恩田川流域の田んぼと 新治の里山を訪ねて	緑区新治町	緑
出前講座 ～ドングリのお話～	環境活動支援センター	保土ケ谷
【計】 2 回		

参加者の声

- ・木の年輪に初めて触りました。気持ち良くて驚きました。(ドングリプロジェクト)
- ・色々な木の実を使って工作ができて、とても楽しかったです。(ドングリプロジェクト)

■里山ライフ体験事業

里山の成り立ちや自然と文化を知ることがを目的に、里山の生活体験のできる古民家等を活用した体験型の催しを開催しました。

イベント名	会場	区
米作り体験と自然観察 (6月～12月、6回)	環境活動支援センター	保土ケ谷
新治 森の湧き水たんけん	新治里山公園ほか	緑
長屋門公園ライトアップ(2回)	長屋門公園	瀬谷
天王森竹林の間伐と竹細工	天王森泉公園	泉
花炭焼きと丸太切り	舞岡公園	戸塚
【計】 12 回		



【写真】「新治 森の湧き水たんけん」の様子
(9月29日開催、緑区/新治里山公園ほか)

参加者の声

- ・昔から住んでいる方から里山の話聞き、貴重なお話だと思いました。(「新治 森の湧き水たんけん」参加者)
- ・実際に歩き、見てみることで、森の緑が水をつくり保っていることがわかりました。(「新治 森の湧き水たんけん」参加者)

■健康の森事業

森に親しむことにより、樹林地の保全に対する市民の関心・理解を深め、あわせて健康増進を図るため、市民の森等の樹林地をコースに組み込んだウォーキングツアーを、各種団体等と連携し実施しました。

<ウォーキングツアーの実施例>



【写真】「丘と遺跡群と緑をつなぐ小道の自然を訪ねて」の様子（都筑区/都筑中央公園）



【写真】「よこはま南の森フェスタ 金沢の森を歩く」の様子（金沢区/釜利谷市民の森）



【写真】「みどりアップで新しくオープンした市民の森を歩こう!」の様子（戸塚区/深谷市民の森）



【写真】「秋を探しに花木園を歩く」の様子（鶴見区/東寺尾ふれあいの樹林）

🗨️ 参加者の声

- ・身近な場所なのに自然豊かな樹林地の中で気持ち良かったです。
- ・多くの花や虫に触れ合えて、丁寧に解説もしてくれてよかった。
- ・普段訪れることの少ない森の中を歩ける機会になってよかった。

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 — ア 樹林地を守る

■横浜の森の自然・生き物情報発信事業

ウォーキングなどの散策にも活用できるよう、近接する市民の森、ふれあいの樹林の自然・生き物情報や、距離を示したルート情報を1枚にまとめたパンフレットを、3つの地域で作成しました。

パンフレット作成地域	区
三保市民の森	緑
白根・上山ふれあいの樹林	旭・緑
中田・鯉ヶ久保・上矢部ふれあいの樹林	泉・戸塚

【左図及び下図】
「三保市民の森」のパンフレット
・森・生き物情報や駅からの案内を表記
・主要な施設や高低差を表示

■間伐材活用クラフト作成事業

樹林地の管理作業の際に発生する間伐材を活用することを目的に、主に子どもを対象としたクラフト作成ワークショップ等を開催しました。

イベント名	会場	区
竹琴づくり	山王台小学校	磯子
卓上七夕飾りづくり (2回)	山王台小学校	磯子
七夕飾りをつくろう (2回)	フォーラムあざみ野	青葉
子どもアドベンチャー 竹琴づくり	児童遊園地	保土ケ谷
環境教育実践推進校担当者会	環境活動支援センター	保土ケ谷
ひょうたんクラフト	権太坂小学校	保土ケ谷
みんなでつくるあったかクリスマス (2回)	フォーラムあざみ野	青葉
親子でミニ門松づくり	山王台小学校	磯子
ふくしまキッズ 2012 冬 横浜プログラム	環境活動支援センター	保土ケ谷
竹細工	権太坂小学校	保土ケ谷
【計】13回		



参加者の声

- ・「竹琴づくり」では、竹を切るのが大変だったが楽しかったです。
- ・みどりが増えるよう協力したいと思いました。
- ・多くのボランティアが見守ってくれて安全に作業ができました。

■森の恵み塾事業

多くの市民を対象に、森づくりの関心を高め、ボランティア活動への参加の契機となるよう、樹林地の特性を活かした多彩なメニューによる森を知り楽しむ「森の恵み塾」を開催しました。

<「森の恵み塾」の開催例>



【写真】
「よこはま南の森フェスタ」の様子
(栄区/横浜自然観察の森)



【写真】
「森の恵み研究」の様子
(港南区/上大岡小学校)



【写真】
「企業担当者向け生物多様性セミナー」の様子
(栄区/横浜自然観察の森)



【写真】
「よこはま森の楽校 英和の森で自然遊びを楽しみましょう！」の様子
(緑区/東洋英和女学院大学)

参加者の声

- ・日頃は自然と触れ合う機会がないので、非常にいい経験になったと思います。
- ・自然の中の知らない事を親も学び、子どもも初体験ばかりで刺激的でした。
- ・楽しく森のしくみや自然の知識を得ることができました。

8 みどりの夢かなえます事業

●:新規事業
(横浜みどり税充当)

- 市内で活動している市民団体から樹林地の保全と利活用に資する提案を募集し、優れた提案の実施を支援することで、市民協働による樹林地の保全を推進します。

平成 24 年度の実績		<年度目標>
🌿 提案に対する実施の支援	4件	3件

平成 24 年度は、平成 24 年 2 月より募集を開始、3 月 23 日に提案募集を締め切り、4 件の事業提案がありました。3 月 27 日のみどりの夢かなえます事業懇談会において審査を行い、4 件の事業を決定し各団体において実施しました。

	助成事業	団体
1	森づくり団体の作業お助け作業 ・「よこはま里山レンジャーズ」実施 ・講演会開催	NPO 法人 よこはま里山研究所
2	森づくり活動道具使い方ガイドブック作成事業	NPO 法人 グリーンプログラム
3	さとやまと地域のつながりを求めて ・竹灯籠の夕べ ・講演会開催	わかぎの会
4	市民と企業の森づくり協働事業 ・講演会開催	トンボはどこまで飛ぶか フォーラム



【写真】森づくり団体の作業お助け事業



【写真】竹灯籠の夕べの様子

🗣️ 参加者の声

- ・1人では森づくり団体の作業へ参加しづらいので、よこはま里山レンジャーズのコーディネーターがいてくれてよかった（森づくり団体の作業お助け事業）
- ・トンボを詳しく知ることができてよかった（トンボはどこまで飛ぶかフォーラム）

9 間伐材資源循環事業 **◎: 拡充事業**
(横浜みどり税一部充当)

- 市民の森等で活動する森づくり団体が行う管理活動で生じた間伐材をチップ化し、園路に敷く等の活動を支援し、森の手入れを促進します。
- 間伐材の活用方法を学ぶとともに、チップ化作業支援で用いられるチップパーに関する説明や注意事項を学びます。

平成 24 年度の実績		<年度目標>
● 森づくり団体への間伐材チップ化作業支援	25回	推進
● 間伐材マネジメント研修	1回(12人)	
● 間伐材利活用方法の検討	間伐材活用製品の作成	

■ 間伐材チップ化作業支援

実施箇所	区	回数
古橋特別緑地保全地区	泉	4
鯉ヶ久保ふれあいの樹林	泉	4
関ヶ谷市民の森	金沢	1
緑地保存地区(能見台東)	金沢	6
上山ふれあいの樹林	緑	2
川井特別緑地保全地区	旭	2
茅ヶ崎公園	都筑	2
新治市民の森	緑	2
もえぎ野ふれあいの樹林	青葉	2
【計】		25



【写真】チップ化作業支援の様子(緑区/上山ふれあいの樹林)



【写真】チップを敷きつめた様子(緑区/上山ふれあいの樹林)



間伐材チップ化作業支援を利用した森づくり団体の声

- ・ 間伐材をチップにすることができ、そのチップを園路にまくことで、樹林内がきれいになりました。

■ 間伐材マネジメント研修

会場	区
環境活動支援センター	保土ケ谷



参加者の声

- ・ 加工や仕上げの質向上に大変役立った。

■ 間伐材利活用方法の検討

- ・ 間伐材活用製品を作成しました。



【写真】間伐材マネジメント研修の様子(保土ケ谷区/環境活動支援センター)

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 — ア 樹林地を守る

10	愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業	◇:新規事業等 (横浜みどり税非充当)
11	ウェルカムセンター整備事業	◇:新規事業等 (横浜みどり税非充当)

- 市民の森等の愛護会や森づくりボランティアの活動が活性化するよう、活動拠点を整備します。
- 市民が気軽に立ち寄り、森の散策情報やイベント情報等が得られるなど、市民が森を利用しやすい機能を備えたウェルカムセンターを整備します。

平成 24 年度の実績		<年度目標>
【10 愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業】		
🌿	森づくり団体の活動拠点の設計	2箇所
🌿	森づくり団体の活動拠点の整備	1箇所
【11 ウェルカムセンター整備事業】		
🌿	ウェルカムセンターの設計	2箇所
🌿	ウェルカムセンターの展示設置等	2箇所

■愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業

- ・設計：瀬谷市民の森（瀬谷区）、鴨居原市民の森（緑区）
- ・整備：新治市民の森（緑区）

■ウェルカムセンター整備事業

多くの市民や子供たちが森を知り楽しめるよう、横浜自然観察の森にある自然観察センター、新治里山公園にあるいはる里山交流センターの展示物を充実させる整備をしました。

- ・設計：寺家ふるさと村（青葉区）、舞岡ふるさと村（戸塚区）
- ・整備：横浜自然観察の森（栄区）、新治里山公園（緑区）



【写真】自然観察センターの展示



【写真】いはる里山交流センターの展示

12 特別緑地保全地区指定等拡充事業

◎: 拡充事業
 (横浜みどり税一部充当)

- 市内に残る貴重な緑地を保全するため、緑地保全制度による地区指定を積極的に進めます。
- 特別緑地保全地区の指定地等で、不測の事態による買取りの希望などに対応し、緑地を確実に担保します。

平成 24 年度の実績		<年度目標>	
● 緑地保全制度による新規指定等	107.6ha	309.9 ha	
● 不測の事態による買取希望等への対応	45.1ha	約 42 ha	

■ 樹林地の新規指定【詳細】

制度	新規指定等	
	面積	地区詳細
特別緑地保全地区	12.0ha	北寺尾七丁目地区（鶴見区）1.3ha、馬場二丁目地区（鶴見区）0.3ha、三枚町牛道根地区（神奈川区）1.7ha、上川井町大貫谷地区（旭区）1.0ha、上川井町堀谷地区（旭区）1.5ha、鶴ヶ峰一丁目地区（旭区）0.2ha、大曽根台地区（港北区）0.4ha（拡大指定）、川和地区（都筑区）4.1ha、古橋地区（泉区）0.4ha（拡大指定）、鍋屋地区（泉区）1.1ha
市民の森	30.8ha	柏地区（旭区）1.9ha、池辺地区（都筑区）3.1ha、朝比奈北地区（金沢区）10.8ha、名瀬・上矢部地区（戸塚区）11.2ha 【既指定地区の拡大指定】計 3.8ha
緑地保存地区	10.9ha	36件 10.9ha
源流の森	51.7ha	111件 51.7ha
寄附緑地等	2.2ha	【寄附緑地】1.0ha、【建築物緑化保全】0.6ha 【農園付公園】0.4ha、【土地使用貸借契約】0.2ha
【合計】	107.6ha	



【写真】川和特別緑地保全地区（都筑区）



【写真】（仮称）名瀬・上矢部市民の森（戸塚区）

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 — ア 樹林地を守る

■樹林地の買取対応【詳細】

制度	地区	区
特別緑地保全地区、 近郊緑地特別保全地区 	獅子ヶ谷・師岡地区	鶴見区
	馬場四丁目地区	鶴見区
	三枚町牛道根地区	神奈川区
	港南一丁目地区	港南区
	下永谷地区	港南区
	上星川一丁目地区	保土ヶ谷区
	権太坂地区	保土ヶ谷区
	今宿町地区	旭区
	熊野神社地区	港北区
	篠原町地区	港北区
	大曽根台地区	港北区
	上山・白山地区	緑区
	天神の杜地区	緑区
	三保地区	緑区
	寺家地区	青葉区
	川和地区	都筑区
	大丸山地区	栄区
野七里地区	栄区	
飯島町地区	栄区	
市民の森、ふれあいの樹林等 	獅子ヶ谷地区	鶴見区
	下永谷地区	港南区
	白根地区	旭区
	峯地区	磯子区
	熊野神社地区	港北区
	長津田地区	緑区
	新治地区	緑区
新橋地区	泉区	
【合計】	27 地区 45.1ha	



【写真】大丸山近郊緑地特別保全地区（栄区）




【写真】今宿町特別緑地保全地区（旭区）

13 よこはま協働の森基金制度の見直し

・事業費のないもの

- 市民に身近な小規模樹林地を、市民と行政との協働で取得し保全する「よこはま協働の森基金制度」について、より活用される制度とするため、制度を一部改正し、平成 23 年度より運用を開始しました。

平成 24 年度の実績	＜年度目標＞
 適用条件の緩和を中心に見直し改正した制度で運用	制度運用 (平成 22 年度制度改正)

■「よこはま協働の森基金事業」の概要

○よこはま協働の森基金事業とは

市民に身近な小規模樹林地を市民と行政との協働により保全するため、「よこはま協働の森基金」を創設し、市民の皆さまが自主的に集めた資金と「基金」からの拠出金とを合わせ、樹林地を取得する制度です。一団のまとまりのある良好な樹林地が対象です。

○市民の皆さまの活動

- ・身近な樹林地の保全を発意し、土地所有者の方々から売却の承諾を得ます。
- ・募金活動を行い、取得費用の 1 割以上（上限あり）を集めます。
- ・取得後、樹林地の日常的な管理を行います。



【写真】
保全された樹林地（金沢区）

■見直しの背景

制度の導入以来、実績が 1 箇所にとどまってきたことから、より活用される制度とするため、制度の見直しを行い、平成 23 年度より運用を開始しました。

■改正内容の比較

項目	改正前	課題	改正後
樹林地の面積基準	1,000 m ² 以上 5,000 m ² 未満	買取制度のある特別緑地保全地区の面積基準を、平成 21 年度に 1,000 m ² に引き下げたことで、面積基準が重複したことや、小規模樹林地の保全に対応すること	300 m²以上 1,000 m²未満
	一団が 5,000 m ² 以上の大きな樹林地は対象外	面積基準を超える大規模な樹林地の一部は、事業の対象としない	1,000 m²以上の樹林地の一部（300 m²～1,000 m²）も対象
取得費用	取得費用の 1 割以上を住民団体が負担	取得価格が高額な場合、取得に当たり住民団体の負担感が大きい	取得費用の 1 割以上を住民団体が負担し、 上限額を 500 万円とする
	・住民団体の負担金 ・「よこはま協働の森基金」からの拠出金	取得財源は、住民団体の負担金と基金からの拠出金のみで、他の財源が導入できない	現行に加え、 国費等の他の財源も導入を可能とする
取得後の維持管理	住民団体が主体の維持管理	取得後の維持管理における住民団体の負担感がある	住民団体は、 日常的な管理に限定する


3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績ーア 樹林地を守る

14 国への制度要望

・:事業費のないもの

- 相続税の納税対象に緑地が含まれる場合は、緑地の保全を優先すること、また、緑地保全等に係る税制上の負担軽減措置の創設・拡充等を国に対し要望していきます。

平成 24 年度の実績	<年度目標>
 緑地保全につながる制度の創設・拡充について、6月、8月に要望を実施	推進